

# 議 事 要 旨

会議の名称	令和5年度 第4回南あわじ市ケーブルテレビ自主放送番組審議会
開催日時	令和5年10月12日（木）午後2時00分～午後3時10分
開催場所	南あわじ市役所 本館304・305会議室
出席者	委員：7名 奥井光子、稲本保男、南義晴、松本富美子、松野治郎、富本陽子、馬野徹 （欠席者：中尾隆太、清水真澄） 事務局6名 副市長 喜田憲和、 総務企画部長 木田博仁 広報情報課：課長 島田美穂、同南あわじプロモーション室長 奥田泰大 同映像番組制作担当係長 前野洋司
審議事項	審議事項 1. 放送番組の審議 ①ずっと、好きなことを～フレイル予防と改善で、いつまでも元気な生活を～ ②行ってみ！南あわじのええトコ ～おいでよ、若人の広場～ ③ぶらさんぽ～福良市民交流センター・市立図書館・神道ふれあい公園～ ④約3年ぶりに復活！ちょいみみ～観光客に聞いた！南あわじ市 2. 番組改編について
会議の概要	会議の概要 1. 開会 ・事務局から開会の言葉 2. あいさつ ・奥井光子会長 ・南あわじ市副市長 喜田憲和
3. 審議事項	3. 審議事項 (1)放送番組の審議 ①健康課と連携して制作したフレイル予防の番組「ずっと、好きなことを～フレイル予防と改善で、いつまでも元気な生活を～」 ②都市政策室と連携してドローンを使った撮影で施設を紹介する「行ってみ！南あわじのええトコ ～おいでよ、若人の広場～」 ③市内で新しく出来た公園を紹介する「ぶらさんぽ～福良市民交流センター・市立図書館・神道ふれあい公園～」 ④コロナの影響で中断していた番組で、今回はうずまちテラスに来られた観光客に南

あわじ市に来た理由や印象などを答えてもらった「約3年ぶりに復活！ちょいみみ〜観光客に聞いた！南あわじ市」

※令和5年4月から同年7月までに放送した以上の4番組を先に視聴していただき、各委員より意見を拝聴

(委員) フレイル予防の番組は、ほとんどBGMが入っていた。言葉に音楽が重なると言葉が耳に入っていない。さんさんキッズの募集ナレーションでもビートルズのボーカルの声とナレーションがけんかしていて聞取り辛かった。お年寄りには耳の状態悪いので聞き取りやすいようにしてほしい。

(事務局) 以前ご指摘頂いて「知っ得ええ農情報」では、BGMが重ならないようにしましたが、健康番組などはどうしても堅苦しくなく明るい雰囲気を出すためにBGMを入れました。

(委員) 「知っ得ええ農情報」だけのことでないということはその時に言いました。

(委員) 「ぶらさんぼ」の番組で神道の公園が紹介されているが、神道がどこなのかわからない。地図表示があればわかりやすい。南あわじ市は広いので。先程のBGMが邪魔する話ですが、若い人しか聞こえない音があることを子供に聞いた。そのようなBGMを取り入れたらいいと思う。

## (2)番組改編について

(事務局) 現在の番組の現状ですが、ニュース番組は、平日毎日更新、また長時間番組の「撮っておき」やお知らせ番組については週1回の更新となっており、見ている方には「いつも同じもの」といった印象を与えています。また、放送時間が固定されていて、現在の多様な生活スタイルに合っていないのと、youtube や SNS との連携が少ないのが現状です。結果的に、ニュース番組の編集に日々追われていて、本来発信すべき情報が発信できていないのではないかと。その他の番組については週1回の更新となっていて、「いつも同じもの感」を与えているのではないかと。そして、毎日同じ放送時間となっているので、市民の生活スタイルに放送時間が合っていないのではないかと。そして、発信するのがコミュニティチャンネルのみとなっていて、若年層が見られる機会がないのではないかとといったところが問題点となっています。そこで、市民がどのようなものを求めているかを把握するために8月の来庁者の方にアンケート調査を実施しました。

(アンケート結果を説明し) その結果から、やはり市民の生活に役立つ情報と方法で発信するよう変える必要があるということが分かりました。まず第1段階の改編として、ニュース番組を正時からの放送に変更することで、より見ごたえのある番組にしたいと思います。それとお知らせ番組を日替わりのローテーションに変更することで「いつも同じもの感」の払拭を図ります。午前11時と午後5時に放送している教育教養番組については、リフレ

ツシユタイムに名前を変更して体操や脳トレ番組を放送することで市民の健康維持や増進に役立てばと考えました。また、制作した番組を youtube や SNS などを積極的に活用して発信し、若い世代が見られる機会を増やそうと考えています。来年10月を目途に大きな改編を予定しています。現在はイベント等のニュース番組を制作したり、体育会などの長時間番組を制作したり、市役所の各課からの要望に応じてお知らせ番組を制作したりしていますが、これを、より市民に役立つ情報として市政情報や健康・防災などの特集番組を月に4本ではありますが制作することとします。各番組については記載のとおりですが、市の取り組みや市長出演による番組、健康や生涯活躍に関する番組、保育所や学校の紹介などの番組、その他記載しているような番組を制作しようと考えています。次に番組編成、タイムスケジュールですが、今はニュースを毎日更新で放送していますが、これを週2回更新に変更し、これまでニュース番組の編集に充てていた時間を特集番組の制作に回すことで特集番組の制作時間を確保します。また、市民の生活スタイルに合わせるためにニュース番組と特集番組を入れ替えて放送することとしています。また、現在のシンプルな放送スケジュールを、より細分化して編成することで「いつも同じもの感」を払拭いたします。また、市や各種団体からのお知らせや観光情報を放送する枠を新たに設けます。以上が大きな編成の変更になりますが、ケーブルテレビの本来目指す姿について考えてみました。やはり発信すべき情報を、紙面や写真よりも伝わりやすいと言われる動画で制作し、テレビやネット動画、SNSなどの情報ツールを活用して発信することで、市民の方に「行ってみたい」や「やってみたい」といった興味を発掘し、実際に行動してもらうことが重要と考えます。そのために、発信すべき情報は動画を制作して、南あわじ市にも youtube や SNS による発信手段を持っておりますので、そのツールを活用して最大限の効果が発揮できる情報発信を目指していきたいと考えています。以上が、私からの番組改編についての説明となります。

(委員) 説明いただいた番組編成は、ずっとさんさんニュースを見ている人は、あきずに見られる工夫がされていると思います。私たち子育て世代は、番組を見ていない。広報紙は見ているが、インスタグラムで見ることが多い。イベントでケーブルテレビの取材が来ていた時しかテレビを見ない。今日は久しぶりに番組を見ました。「ぶらさんぼ」についてはどこにあるんだろう、アスレチックは何歳以上なら利用できるかなど公園の情報が知りたい。子供が映っていた図書館の公園のように遊んでいる雰囲気が出ていることが大事。宿泊者もTVを見るより、SNSで情報を取得するほうが多いと思う。お店の情報なども放送してほしい。

(事務局) 特集番組については、ケーブルテレビだけでなく SNS にも上げようと思います。先程は youtube や SNS と申しましたが、SNS のインスタグラムは10代や20代の方がよく利用していて、ご覧いただいた番組の中でも

ありましたが、インスタグラムを見て南あわじに来た方もありました。市もインスタグラムを持っていますので、活用していきたいと思います。  
お店を紹介する番組も来年度取り組む予定です。何かと忙しい子育て世代は家でテレビの放送時間にあわせて見る時代でなく、SNSに切り替わっている状況にあるので、市役所もSNSの発信を各課で取り組んでいけるように、担当者を置いています。写真や動画を撮れるようにスマホも用意しておりますが、いきなり動画制作はハードルが高いのでケーブルテレビの番組制作スタッフが指導していくこととしております。

(委員) ニュース番組についてですけど、ニュースと言いながら放送までに2週間や3週間かかっています。これを1週間で放送するようにしてほしい。

(事務局) ニュースをストックをしている関係で放送が遅れております。先程説明したように、来年10月からの改編では、ニュースよりも企画番組に力を入れるということもありますが、できるだけ放送までの期間を短くニュース放送しなければならないと考えております。

(事務局) 本日の会議で受け賜りましたご意見につきましては、今後の番組作りに生かして参りたいと思います。

## 6. 閉会

- ・ 広報情報課課長より閉会あいさつ